

学校コード F132110109461

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

注2

島根大学大学院 自然科学研究科 創成理工学専攻

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 島根大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画部 企画広報課

職名・氏名 係長 ハヤシダ 林田 サトシ 智史

電話番号 0852-32-6605

（夜間） 0852-32-6605

e-mail gad-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

自然科学研究科

＜創成理工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	44

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 島根大学

(2) 大学名

島根大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒690-8504
島根県松江市西川津町1060

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ハットリ ヤスナオ) 服部 泰直 (平成27年4月)		
理事	(フジタ タツロウ) 藤田 達朗 (平成27年4月)		
理事	(アキシゲ ユキクニ) 秋重 幸邦 (平成27年4月)	(オオタニ ヒロキ) 大谷 浩 (令和3年4月)	任期満了のため 令和3年4月1日(3)
理事	(アラセ サカエ) 荒瀬 榮 (平成27年4月)	(ヒゴ コウイチ) 肥後 功一 (令和3年4月)	任期満了のため 令和3年4月1日(3)
理事	(イガワ ミキオ) 井川 幹夫 (平成27年4月)	(シイナ ヒロアキ) 椎名 浩昭 (令和3年4月)	任期満了のため 令和3年4月1日(3)
理事	(ヨシダ ヤスシ) 吉田 靖 (平成30年4月)	(ナガサワ キミヒロ) 長澤 公洋 (令和2年4月)	定年退職のため(2)
		(フジナミ トヨヒコ) 藤波 豊彦 (令和4年4月)	任期満了のため 令和4年4月1日(4)
理事	(ミヤワキ カズヒデ) 宮脇 和秀 (平成30年4月)		
理事		(ウエノ トモノリ) 上野 友典 (令和2年4月)	学外理事採用のため 令和2年4月1日(2)
研究科長	(ヒロミツ イテロウ) 廣光 一郎 (平成30年4月)	(カワムカイ マコト) 川向 誠 (令和3年4月)	任期満了のため 令和3年4月1日(3)
副研究科長	(イトウ カズヒト) 井藤 和人 (平成30年4月)	(イトウ フミヒコ) 伊藤 文彦 (令和3年4月)	任期満了のため 令和3年4月1日(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
自然科学研究科 創成理工学専攻 博士 (理学) (工学)	理学関係 工学関係	3 年	15 人	年次 人	45 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人	人	人	人	15人	人	15人	人	15人	人	人	人	0.53倍	—		
	()	()	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
	[]	[]	[]	[]	[若干名]	[若干名]	[若干名]	[若干名]	[若干名]	[若干名]	[若干名]	[若干名]				
志願者数	()	()	()	()	6	1	9	4	7	(-)	(-)	(-)				(-)
	[]	[]	[]	[]	[3]	[1]	[3]	[3]	[2]	[]	[]	[]				[]
受験者数	()	()	()	()	6	1	9	4	7	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[]	[]	[]	[]	[3]	[1]	[3]	[3]	[2]	[]	[]	[]	[]			
合格者数	()	()	()	()	6	1	9	3	6	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[]	[]	[]	[]	[3]	[1]	[3]	[2]	[2]	[]	[]	[]	[]			
B 入学者数	()	()	()	()	6	1	8	3	6	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[]	[]	[]	[]	[3]	[1]	[3]	[2]	[2]	[]	[]	[]	[]			
入学定員超過率 B/A					0.46		0.73		0.4							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	6 [3] (-)	1 [1] (-)	8 [3] (-)	1 [1] (-)	6 [2] (-)	3 [2] (-)	
2年次	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	/		5 [2] (-)	[] ()	8 [3] (-)	1 [1] (-)	
3年次	/		- [] ()	- [] ()	/		/		5 [2] (-)	[] (-)	
4年次	/		/								
計	- [] ()	- [] ()	- [] ()	- [] ()	7 [4] (-)		14 [6] (-)		23 [10] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	7 人	1 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	1 人	[経済的理由(1名)]
令和3年度	14 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	23 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	1 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{7} = \boxed{14.28} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<創成理工学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践教育科目	英語アカデミックリーディングセミナー	1前		2							1
	英語プラクティカルスキルアップセミナー	1後		2							1
	社会人実践研究(企業滞在型実践研究)	1前		2		42	44	10			
	知的財産と社会連携(研究開発マネジメント科目)	1通		2							2
	特別実践研究(PBL型授業)	1通		2		42	44	10			
	国際実践演習	1通		2		42	44	10			
	教育指導特別実習A(実験・演習指導)	2通		2		42	44	10			
	教育指導特別実習B(発表指導)	2通		2		42	44	10			
小計(8科目)	-										
専門科目(理工学コース)	タイヒュラー空間論	1前		2		1					
	凸解析・非線形解析学特論	1前		2		1					
	生物数学特論	1後		2			1				
	複素幾何学特論	1後		2			1				
	代数学特論	1前		2		1					
	偏微分方程式特論	1前		2		1					
	連続体理論とトポロジー	1後		2			1				
	調和写像論	1後		2				1			
	ホモロジー代数学特論	1前		2			1				
	多変量解析法の推測論	1後		2			1				
	遅延方程式特論	1後		2				1			
	計算機設計技法特論	1後		2		1					
	プログラム解析技術特論	1後		2		1					
	言語処理系最適化特論	1前		2		2	1				
	書換システム特論	1後		2		2	1				
	適応型ユーザインターフェース論	1前		2		2	1				
	先進ネットワーク論	1後		2		2	1				
	有機光電変換薄膜	1前		2		2	1				
	超伝導物性特論	1後		2		2	1				
	量子理論物性学	1前		2		2	1				
	応用結晶成長学特論	1後		2		2	1				
	量子物理学特論	1後		2		2		1			
	素粒子物理学特論	1後		2		2	1				
	強相関電子系物質学	1後		2		2	1				
	量子物性学特論	1後		2		2		1			
	結晶材料解析学	1前		2		2		1			
	焼結材料学	1前		2		2		1			
	強誘電体物理学	1前		2		2		1			
	ナノフォトニクス工学	1後		2		2	1				
	薄膜材料デバイス	1前		2		2		1			
	先端電子材料設計学	1後		2		2	1				
	核融合炉材料	1前		2		2		1			
低温物理学特論	1前		2		2		1				
電子顕微鏡学	1後		2		2		1				
光通信論	1後		2		2	1					
光波計測論	1前		2		2	1					
知能移動ロボット論	1前		2		2		1				
大気計測論	1後		2		2		1				
光ファイバ工学論	1後		2		2	1					
機械要素設計特論	1後		2		2		1				
振動解析学特論	1後		2		2			1			
複雑系熱流体工学特論	1後		2		2		1				
非線形弾性力学特論	1前		2		2		1				

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配年 当次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践教育科目	英語アカデミックリーディングセミナー	1前		2							1
	英語プラクティカルスキルアップセミナー	1後		2							1
	社会人実践研究(企業滞在型実践研究)	1前		2			48	35	6		
	知的財産と社会連携(研究開発マネジメント科目)	1通		2							1
	特別実践研究(PBL型授業)	1通		2			48	35	6		
	国際実践演習	1通		2			48	35	6		
	教育指導特別実習A(実験・演習指導)	2通		2			48	35	6		
	教育指導特別実習B(発表指導)	2通		2			48	35	6		
小計(8科目)	-										
専門科目(理工学コース)	タイヒュラー空間論	1前		2		1					
	凸解析・非線形解析学特論	1前		2		1					
	生物数学特論	1後		2			1				
	複素幾何学特論	1後		2			1				
	代数学特論	1前		2		1					
	偏微分方程式特論	1前		2		1					
	連続体理論とトポロジー	1後		2			1				
	調和写像論	1後		2							1
	ホモロジー代数学特論	1前		2			1				
	多変量解析法の推測論	1後		2			1				
	遅延方程式特論	1後		2							1
	計算機設計技法特論	1後		2		1					
	プログラム解析技術特論	1後		2		1					
	言語処理系最適化特論	1前		2		2	1				
	書換システム特論	1後		2		2	1				
	適応型ユーザインターフェース論	1前		2		2	1				
	先進ネットワーク論	1後		2		2	1				
	有機光電変換薄膜	1前		2		2	1				
	超伝導物性特論	1後		2		2	1				
	量子理論物性学	1前		2		2	1				
	応用結晶成長学特論	1後		2		2	1				
	量子物理学特論	1後		2		2		1			
	素粒子物理学特論	1後		2		2	1				
	強相関電子系物質学	1後		2		2	1				
	量子物性学特論	1後		2		2		1			
	結晶材料解析学	1前		2		2		1			
	焼結材料学	1前		2		2		1			
	強誘電体物理学	1前		2		2		1			
	ナノフォトニクス工学	1後		2		2	1				
	薄膜材料デバイス	1前		2		2		1			
	先端電子材料設計学	1後		2		2	1				
	核融合炉材料	1前		2		2		1			
低温物理学特論	1前		2		2		1				
電子顕微鏡学	1後		2		2		1				
半導体薄膜技術	1前		2					1			
光通信論	1後		2		2	1					
光波計測論	1前		2		2	1					
知能移動ロボット論	1前		2		2		1				
大気計測論	1後		2		2		1				
光ファイバ工学論	1後		2		2	1					
機械要素設計特論	1後		2		2		1				
振動解析学特論	1後		2		2			1			
複雑系熱流体工学特論	1後		2		2		1				
非線形弾性力学特論	1前		2		2		1				

専 門 科 目 (英 語 に よ る 「 地 球 」 教 育 研 究 特 別 プ ロ グ ラ ム)	Advanced Organic Geochemistry 有機地球化学特論	1前	2	1							
	Micropaleontology 微古生物学	1後	2	1							
	Advanced Sedimentology 堆積学特論	1後	2	1							
	Advanced Igneous Petrology 火成岩岩石学特論	1前	2	1							
	Advanced Biostratigraphy 生層序学特論	1前	2		1						
	Advanced Volcanology 火山学特論	1前	2			1					
	Rock and Mineral Physics 岩石鉱物物理	1後	2				1				
	Mineral Science of Organic Natural Resources 有機資源地球物質科学	1後	2	1							
	Groundwater Modeling 地下水モデリング	1後	2		1						
	Utilization Engineering of Forest Resources 森林資源利用工学	1後	2		1						
	Landslide Dynamics 地すべりダイナミクス学	1後	2	1							
	Paleoenvironmentology and Paleoecology 古環境・古生態学	1後	2			1					
Coastal Geoenvironmental Science 沿岸地質環境学	1前	2	1								
Effective Manuscript Preparation A 論文執筆計画A	1前	2				1					
Effective Manuscript Preparation B 論文執筆計画B	1後	2				1					
小計(116科目)	-										

必 修 科 目	論文研究	1通	4			42	44	10			
	特別セミナー	1通	2			42	44	10			
	小計(2科目)										
合計(126科目)	-										

卒業要件及び履修方法

(履修方法)
 ・実践教育科目から選択して2単位を修得
 ・所属するコースの専門科目から選択して2単位を修得
 ・さらに、実践教育科目、及び理工学コースと自然環境システム科学コースの専門科目の中から選択して2単位を修得
 ・「論文研究(4単位)」と「特別セミナー(2単位)」を履修
 合計12単位以上修得すること。

専 門 科 目 (英 語 に よ る 「 地 球 」 教 育 研 究 特 別 プ ロ グ ラ ム)	Advanced Organic Geochemistry 有機地球化学特論	1前	2	1							
	Micropaleontology 微古生物学	1後	2	1							
	Advanced Sedimentology 堆積学特論	1後	2	1							
	Advanced Igneous Petrology 火成岩岩石学特論	1前	2	1							
	Advanced Biostratigraphy 生層序学特論	1前	2		1						
	Advanced Volcanology 火山学特論	1前	2			1					
	Rock and Mineral Physics 岩石鉱物物理	1後	2					1			
	Mineral Science of Organic Natural Resources 有機資源地球物質科学	1後	2	1							
	Groundwater Modeling 地下水モデリング	1後	2		1						
	Utilization Engineering of Forest Resources 森林資源利用工学	1後	2		1						
	Landslide Dynamics 地すべりダイナミクス学	1後	2	1							1
	Paleoenvironmentology and Paleoecology 古環境・古生態学	1後	2						1		
Coastal Geoenvironmental Science 沿岸地質環境学	1前	2	1								
Effective Manuscript Preparation A 論文執筆計画A	1前	2						1			
Effective Manuscript Preparation B 論文執筆計画B	1後	2						1			
小計(118科目)	-										

必 修 科 目	論文研究	1通	4			48	35	6			
	特別セミナー	1通	2			48	35	6			
	小計(2科目)										
合計(128科目)	-										

卒業要件及び履修方法

(履修方法)
 ・実践教育科目から選択して2単位を修得
 ・所属するコースの専門科目から選択して2単位を修得
 ・さらに、実践教育科目、及び理工学コースと自然環境システム科学コースの専門科目の中から選択して2単位を修得
 ・「論文研究(4単位)」と「特別セミナー(2単位)」を履修
 合計12単位以上修得すること。

【令和2年度】

Table for Heisei 24 (令和2年度) showing course details, units, and staff configuration for Practical Education and Specialized Courses.

【令和3年度】

Table for Heisei 25 (令和3年度) showing course details, units, and staff configuration for Practical Education and Specialized Courses.

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

・担当教員の昇任及び就任辞退により、社会人実践研究の専任教員等の配置を「教授42」「准教授44」「講師10」から「教授49」「准教授37」「講師8」に変更。
・担当教員の昇任及び就任辞退により、特別実践研究の専任教員等の配置を「教授42」「准教授44」「講師10」から「教授49」「准教授37」「講師8」に変更。
・担当教員の昇任及び就任辞退により、国際実践演習の専任教員等の配置を「教授42」「准教授44」「講師10」から「教授49」「准教授37」「講師8」に変更。
・担当教員の昇任及び就任辞退により、教育指導特別実習Aの専任教員等の配置を「教授42」「准教授44」「講師10」から「教授49」「准教授37」「講師8」に変更。
・担当教員の昇任及び就任辞退により、教育指導特別実習Bの専任教員等の配置を「教授42」「准教授44」「講師10」から「教授49」「准教授37」「講師8」に変更。
・担当教員の昇任により、複素幾何学特論の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・担当教員の昇任により、ホモロジー代数特論の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・担当教員の昇任により、結晶材料解析学の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・担当教員の昇任により、電子顕微鏡学の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・担当教員の昇任により、複雑系熱流体工学特論の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・担当教員の昇任により、水環境保全学特論の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・担当教員の昇任により、固体表面・界面物理学の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・担当教員の就任辞退により、遅延方程式特論の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任1」に変更。
・担当教員の就任辞退により、岩石鉱物物理の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任1」に変更。
・担当教員の昇任により、理工医学のための生物材料学の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。
・担当教員の昇任により、機能性物質・食品の医療応用と環境影響の専任教員等の配置を「教授4」「准教授1」から「教授5」に変更。
・担当教員の昇任及び就任辞退により、論文研究の専任教員等の配置を「教授42」「准教授44」「講師10」から「教授49」「准教授37」「講師8」に変更。
・担当教員の昇任及び就任辞退により、特別セミナーの専任教員等の配置を「教授42」「准教授44」「講師10」から「教授49」「准教授37」「講師8」に変更。

【令和3年度】

・担当教員の就任、退職、職位変更等により、社会人実践研究の専任教員等の配置を「教授43、准教授34、講師8、兼任9」から「教授48、准教授36、講師8」に変更。
・教育指導体制の見直しにより、知的財産と社会連携の兼任教員の配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。
・担当教員の就任、退職、職位変更等により、特別実践研究の専任教員等の配置を「教授43、准教授34、講師8、兼任9」から「教授48、准教授36、講師8」に変更。
・担当教員の就任、退職、職位変更等により、国際実践演習の専任教員等の配置を「教授43、准教授34、講師8、兼任9」から「教授48、准教授36、講師8」に変更。
・担当教員の就任、退職、職位変更等により、教育指導特別実習Aの専任教員等の配置を「教授43、准教授34、講師8、兼任9」から「教授48、准教授36、講師8」に変更。
・担当教員の就任、退職、職位変更等により、教育指導特別実習Bの専任教員等の配置を「教授43、准教授34、講師8、兼任9」から「教授48、准教授36、講師8」に変更。
・担当教員の退職により、計算機設計技法特論の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
・担当教員の昇任により、先進ネットワーク論の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・担当教員の退職により、地すべりダイナミクス学の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
・教育指導体制の見直しにより、水質水文学特論の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
・教育指導体制の見直しにより、環境水理学特論の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
・教育指導体制の見直しにより、水環境保全学特論の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
・教育指導体制の見直しにより、植物分子細胞生物学特論の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
・教育指導体制の見直しにより、動物発生生物学特論の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
・教育指導体制の見直しにより、動物組織再生学特論の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
・教育指導体制の見直しにより、植物多様性学特論の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
・教育指導体制の見直しにより、共生生物学特論の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
・教育指導体制の見直しにより、理論生態学特論の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
・教育指導体制の見直しにより、機能性物質・食品の医療応用と環境影響の専任教員等の配置を「教授4、兼任9」から「教授5、兼任8」に変更。
・教育指導体制の見直しにより、医生物学への数学・情報科学の応用の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、兼任6」から「教授2、准教授1」に変更。
・担当教員の退職により、Landslide Dynamics地すべりダイナミクス学の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
・担当教員の就任、退職、職位変更等により、論文研究の専任教員等の配置を「教授43、准教授34、講師8、兼任9」から「教授48、准教授36、講師8」に変更。
・担当教員の就任、退職、職位変更等により、特別セミナーの専任教員等の配置を「教授43、准教授34、講師8、兼任9」から「教授48、准教授36、講師8」に変更。

【令和4年度】

・担当教員の就任、退職、職位変更等により、社会人実践研究の専任教員等の配置を「教授48、准教授36、講師8」から「教授48、准教授35、講師6」に変更。
・担当教員の就任、退職、職位変更等により、特別実践研究の専任教員等の配置を「教授48、准教授36、講師8」から「教授48、准教授35、講師6」に変更。
・担当教員の就任、退職、職位変更等により、国際実践演習の専任教員等の配置を「教授48、准教授36、講師8」から「教授48、准教授35、講師6」に変更。
・担当教員の就任、退職、職位変更等により、教育指導特別実習Aの専任教員等の配置を「教授48、准教授36、講師8」から「教授48、准教授35、講師6」に変更。
・担当教員の就任、退職、職位変更等により、教育指導特別実習Bの専任教員等の配置を「教授48、准教授36、講師8」から「教授48、准教授35、講師6」に変更。
・担当教員の退職により、調和写像論の専任教員等の配置を「講師1」から「兼任1」に変更。
・担当教員の退職により、言語処理系最適化特論の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
・担当教員の昇任により、適応型ユーザーインターフェース論の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・担当教員の退職により、素粒子物理学特論の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。
・教育内容の充実のため、授業科目「半導体薄膜技術」教員配置「講師1」を追加。
・教育内容の充実のため、授業科目「行動生態学特論」教員配置「准教授1」を追加。
・教育指導体制の見直しにより、機能性物質・食品の医療応用と環境影響の専任教員等の配置を「教授5、兼任8」から「教授5、兼任9」に変更。
・教育指導体制の見直しにより、医療のための光工学の専任教員等の配置を「教授2、兼任7」から「教授3、兼任6」に変更。
・担当教員の就任、退職、職位変更等により、論文研究の専任教員等の配置を「教授48、准教授36、講師8」から「教授48、准教授35、講師6」に変更。
・担当教員の就任、退職、職位変更等により、特別セミナーの専任教員等の配置を「教授48、准教授36、講師8」から「教授48、准教授35、講師6」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	124 科目	0 科目	126 科目	2 科目 [0]	126 科目 [2]	0 科目 [0]	128 科目 [2]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						
4						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{126} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	261,438㎡	0㎡	0㎡	261,438㎡				
	運動場用地	90,630㎡	0㎡	0㎡	90,630㎡				
	小 計	352,068㎡	0㎡	0㎡	352,068㎡				
	そ の 他	6,126,723㎡ 6,126,623㎡	0㎡	0㎡	6,126,723㎡ 6,126,623㎡		誤謬修正による100㎡増 (3)		
	合 計	6,478,791㎡ 6,478,691㎡	㎡	㎡	6,478,791㎡ 6,478,691㎡		誤謬修正による100㎡増 (3)		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		137,677㎡ 137,228㎡ (137,677㎡) (-137,228㎡)	0㎡	0㎡	137,677㎡ 137,228㎡ (137,677㎡) (-137,228㎡)	誤謬修正による542㎡増 (3)			
(3) 教 室 等		講 義 室 125室 71室	演 習 室 61室 176室	実験実習室 319室 438室	情報処理学習施設 8室 (補助職員 人) (補助職員 4人)	語学学習施設 3室 (補助職員 人) (補助職員 1人)	大学全体 誤謬修正による室数増減 (3)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 自然科学研究科		室 数 96	室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 購入および除籍による増減 (4) 購入および除籍による増減 (3) 購入および除籍による増減 (2)	
	自然科学研究科	980,494 [221,604] 977,594 [222,340] 975,871 [222,392] 981,083 [223,359]	14,360 [4,514] 14,520 [4,561] 15,253 [4,624] 15,232 [4,622]	7,205 [5,733] 7,196 [5,723] 7,099 [5,712] 7,300 [6,100]	7,221 7,174 6,862 6,816				
	計	980,494 [221,604] 977,594 [222,340] 975,871 [222,392] 981,083 [223,359]	14,360 [4,514] 14,520 [4,561] 15,253 [4,624] 15,232 [4,622]	7,205 [5,733] 7,196 [5,723] 7,099 [5,712] 7,300 [6,100]	7,221 7,174 6,862 6,816				
		980,494 [221,604] 977,594 [222,340] 975,871 [222,392] 981,083 [223,359]	14,360 [4,514] 14,520 [4,561] 15,253 [4,624] 15,232 [4,622]	7,205 [5,733] 7,196 [5,723] 7,099 [5,712] 7,300 [6,100]	7,221 7,174 6,862 6,816				
		980,494 [221,604] 977,594 [222,340] 975,871 [222,392] 981,083 [223,359]	14,360 [4,514] 14,520 [4,561] 15,253 [4,624] 15,232 [4,622]	7,205 [5,733] 7,196 [5,723] 7,099 [5,712] 7,300 [6,100]	7,221 7,174 6,862 6,816				
(6) 図 書 館		面 積 8,645㎡	閱 覧 座 席 数 771 829 821 824	収 納 可 能 冊 数 911,444 911,450			レイアウトの見直しを行ったため(4) レイアウトの見直しを行ったため(3) 集計方法の見直しを行ったため(3) 座席の故障で廃棄したため(2)		
(7) 体 育 館		面 積 3,915㎡	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要 野 球 場 2 面 テ ニ ス コ ー ト 15 面						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
	教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円		
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	島根大学						学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人 3年次10	人		倍	倍	年度	年度	年度	
法文学部				20							
法経学科	4	80		320	学士(法経)	1.03	1.02		平成16年度	島根県松江市西川津町1060	
社会文化学科	4	50		200	学士(社会科学)	1.04	1.00		平成16年度	同上	
言語文化学科	4	55		220	学士(文学)	1.04	1.01		平成16年度	同上	
教育学部											
学校教育課程	4	130		520	学士(教育学)	1.05	1.09		平成16年度	島根県松江市西川津町1060	
人間科学部											
人間科学科	4	80		320	学士(人間科学)	1.04	1.01		平成29年度	島根県松江市西川津町1060	
医学部											
医学科	6	102	2年次5 3年次5	652	学士(医学)	1.00	1.00	令和4年度	平成15年度	島根県出雲市塩冶町89-1	令和2年度より編入学定員を3年次10人から2年次5人、3年次5人に変更
看護学科	4	60		240	学士(看護学)	1.00	1.00		平成15年度	同上	令和2年度より編入学定員を3年次10名から0名に変更
総合理工学部											
物理・マテリアル工学科	4	73	3年次2	296	学士(総合工学)	1.02	1.01		平成30年度	島根県松江市西川津町1060	
物質化学科	4	73	3年次2	296	学士(総合工学)	1.04	1.05		平成30年度	同上	
地球科学科	4	50	3年次1	202	学士(総合工学)	1.00	0.98		平成30年度	同上	
数理科学科	4	50	3年次1	202	学士(総合工学)	1.04	1.00		平成30年度	同上	
知能情報デザイン学科	4	50	3年次2	204	学士(総合工学)	1.08	1.02		平成30年度	同上	
機械・電気電子工学科	4	64	3年次2	260	学士(総合工学)	1.03	1.03		平成30年度	同上	
建築デザイン学科	4	40	3年次2	164	学士(総合工学)	1.01	1.00		平成30年度	同上	
生物資源科学部											
生命科学科	4	70	3年次3	286	学士(生物資源科学)	1.03	1.01		平成30年度	島根県松江市西川津町1060	
農林生産学科	4	60	3年次9	258	学士(生物資源科学)	1.03	1.00		平成30年度	同上	
環境共生科学科	4	70	3年次3	286	学士(生物資源科学)	1.03	1.00		平成30年度	同上	
大学全体	4~6	1,157	47	4,946	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	島根大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
人間社会科学研究科	年	人	年次人	人		倍	倍				
社会創成専攻	2	15		30	修士(法学) 修士(経済学) 修士(人文社会科学研究科) 修士(人間科学)	1.03	0.80		令和3年度	島根県松江市西川津町1060	
臨床心理学専攻	2	10		20	修士(臨床心理学)	1.10	1.20		令和3年度	同上	
人文社会科学研究科											
法経専攻	2	—		—	修士(法学) 修士(経済学)	—	—		平成16年度	島根県松江市西川津町1060	令和3年度より学生募集停止
言語・社会文化専攻	2	—		—	修士(社会科学) 修士(言語文化)	—	—		平成16年度	同上	令和3年度より学生募集停止
教育学研究科											
教育実践開発専攻	2	20		40	職修士(書目録) 修士(教育学)	0.95	1.05		平成28年度	島根県松江市西川津町1060	令和3年度より入学定員変更
臨床心理学専攻	2	—		—	修士(教育学)	—	—		平成28年度	同上	令和3年度より学生募集停止
医学系研究科											
医科学専攻	4	30		120	博士(医学)	1.05	1.06		平成20年度	島根県出雲市塩冶町89-1	
看護学専攻	3	2		6	博士(看護学)	0.83	0.50		平成28年度	同上	
医科学専攻	2	15		30	修士(医科学)	0.76	0.80		平成16年度	同上	
看護学専攻	2	12		24	修士(看護学)	0.74	0.41		平成15年度	同上	
自然科学研究科											
創成理工学専攻	3	15		45	博士(理学) 博士(工学)	0.53	0.40		令和2年度	島根県松江市西川津町1060	
理工学専攻	2	79		158	修士(理学) 修士(工学)	0.83	0.79		平成30年度	同上	
環境システム科学専攻	2	78		156	修士(理学) 修士(工学)	1.07	0.94		平成30年度	同上	
農生命科学専攻	2	43		86	修士(生物資源科学) 修士(生物資源科学)	1.06	1.00		平成30年度	同上	
総合理工学研究科											
総合理工学専攻	3	—		—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—		平成26年度	島根県松江市西川津町1060	令和2年度より学生募集停止
大学院全体	2~4	319	—	715	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A C対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専	准教授	荒河 一渡 <令和2年4月> 博士(工学)	専	教授	専	教授	専	教授
		論文研究 特別セミナー 電子顕微鏡学 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B						論文研究 特別セミナー 電子顕微鏡学 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	准教授	本山 岳 <令和2年4月> 博士(理学)	専	准教授	専	准教授	専	准教授
		論文研究 特別セミナー 低温物理学特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B						論文研究 特別セミナー 低温物理学特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	准教授	宮本 光貴 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	専	准教授	専	准教授
		論文研究 特別セミナー 核融合炉材料 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B						論文研究 特別セミナー 核融合炉材料 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	准教授	李 樹庭 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	専	准教授	専	准教授
		論文研究 特別セミナー 機械要素設計特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B						論文研究 特別セミナー 機械要素設計特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	准教授	濱口 雅史 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	専	准教授	専	准教授
		論文研究 特別セミナー 知能移動ロボット論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B						論文研究 特別セミナー 知能移動ロボット論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	准教授	下舞 豊志 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	専	准教授	専	准教授
		論文研究 特別セミナー 大気計測論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B						論文研究 特別セミナー 大気計測論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	准教授	新城 淳史 <令和2年4月> 博士(工学)	専	教授	専	教授	専	教授
		論文研究 特別セミナー 複雑系熱流体工学特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B						論文研究 特別セミナー 複雑系熱流体工学特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	准教授	森本 卓也 <令和2年4月> 博士(工学)	専	准教授	専	准教授	専	准教授
		論文研究 特別セミナー 非線形弾性力学特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B						論文研究 特別セミナー 非線形弾性力学特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	中田 行彦 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		論文研究 特別セミナー 遅延方程式特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	前田 瞬 〈令和2年4月〉 博士(情報科学)
		論文研究 特別セミナー 調和写像論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	伯田 恵輔 〈令和2年4月〉 博士(機能数理学)
		論文研究 特別セミナー 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	吉田 俊幸 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		論文研究 特別セミナー 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	田村 晋司 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		論文研究 特別セミナー 振動解析学特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	香月 興太 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		論文研究 特別セミナー 古環境・古生態学 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	前田 瞬 〈令和2年4月〉 博士(情報科学)
		論文研究 特別セミナー 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	伯田 恵輔 〈令和2年4月〉 博士(機能数理学)
		論文研究 特別セミナー 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	吉田 俊幸 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		論文研究 特別セミナー 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	田村 晋司 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		論文研究 特別セミナー 振動解析学特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	香月 興太 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		論文研究 特別セミナー 古環境・古生態学 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	前田 瞬 〈令和2年4月〉 博士(情報科学)
		論文研究 特別セミナー 調和写像論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	伯田 恵輔 〈令和2年4月〉 博士(機能数理学)
		論文研究 特別セミナー 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	吉田 俊幸 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		論文研究 特別セミナー 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	田村 晋司 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		論文研究 特別セミナー 振動解析学特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	香月 興太 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		論文研究 特別セミナー 古環境・古生態学 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高原 輝彦 〈令和3年10月〉 博士(学術)
		論文研究 特別セミナー 行動生態学特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	吉田 俊幸 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		論文研究 特別セミナー 半導体薄膜技術 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	田村 晋司 〈令和2年4月〉 博士(工学)
		論文研究 特別セミナー 振動解析学特論 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B
専	講師	香月 興太 〈令和2年4月〉 博士(理学)
		論文研究 特別セミナー 古環境・古生態学 社会人実践研究 特別実践研究 国際実践演習 教育指導特別実習A 教育指導特別実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山本 達之 <令和2年4月> 農学博士
		医療のための光工学 及び研究指導
兼任	教授	中井 誠一 <令和2年4月> 文学修士
		英語アカデミックリーディング セミナー
兼任	教授	Carmella Lieske <令和2年4月> Masters of Applied Linguistics オーストラリア
		英語プラクティカルスキルア ップセミナー
兼任	教授	松下 幸之助 <令和2年4月> 博士(工学)
		知的財産と社会連携
兼任	教授	浦野 健 <令和2年4月> 博士(医学)
		理工医学のための生物材料学
兼任	教授	竹下 治男 <令和2年4月> 博士(医学)
		理工医学のための生物材料学
兼任	教授	内尾 祐司 <令和2年4月> 博士(医学)
		理工医学のための生物材料学
兼任	教授	谷戸 正樹 <令和2年4月> 博士(医学)
		医療のための光工学 理工医学のための生物材料学
兼任	教授	和田 孝一郎 <令和2年4月> 博士(医学)
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	原田 守 <令和2年4月> 博士(医学)
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	福田 誠司 <令和2年4月> 博士(医学)
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	吉山 裕規 <令和2年4月> 医学博士
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	平川 正人 <令和2年4月> 工学博士
		医生物学への数学・情報科学の 応用
兼任	教授	大谷 浩 <令和2年4月> 医学博士
		医生物学への数学・情報科学の 応用

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山本 達之 <令和2年4月> 農学博士
		医療のための光工学 及び研究指導
兼任	教授	中井 誠一 <令和2年4月> 文学修士
		英語アカデミックリーディング セミナー
兼任	教授	Carmella Lieske <令和2年4月> Masters of Applied Linguistics オーストラリア
		英語プラクティカルスキル アップセミナー
兼任	教授	松下 幸之助 <令和2年4月> 博士(工学)
		知的財産と社会連携
兼任	教授	浦野 健 <令和2年4月> 博士(医学)
		理工医学のための生物材料学
兼任	教授	竹下 治男 <令和2年4月> 博士(医学)
		理工医学のための生物材料学
兼任	教授	内尾 祐司 <令和2年4月> 博士(医学)
		理工医学のための生物材料学
兼任	教授	谷戸 正樹 <令和2年4月> 博士(医学)
		医療のための光工学 理工医学のための生物材料学
兼任	教授	和田 孝一郎 <令和2年4月> 博士(医学)
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	原田 守 <令和2年4月> 博士(医学)
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	福田 誠司 <令和2年4月> 博士(医学)
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	吉山 裕規 <令和2年4月> 医学博士
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	平川 正人 <令和2年4月> 工学博士
		医生物学への数学・情報科学の 応用
兼任	教授	大谷 浩 <令和2年4月> 医学博士
		医生物学への数学・情報科学の 応用

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山本 達之 <令和2年4月> 農学博士
		医療のための光工学 及び研究指導
兼任	教授	中井 誠一 <令和2年4月> 文学修士
		英語アカデミックリーディング セミナー
兼任	教授	Carmella Lieske <令和2年4月> Masters of Applied Linguistics オーストラリア
		英語プラクティカルスキルア ップセミナー
兼任	教授	松下 幸之助 <令和2年4月> 博士(工学)
		知的財産と社会連携
兼任	教授	浦野 健 <令和2年4月> 博士(医学)
		理工医学のための生物材料学
兼任	教授	竹下 治男 <令和2年4月> 博士(医学)
		理工医学のための生物材料学
兼任	教授	内尾 祐司 <令和2年4月> 博士(医学)
		理工医学のための生物材料学
兼任	教授	谷戸 正樹 <令和2年4月> 博士(医学)
		医療のための光工学 理工医学のための生物材料学
兼任	教授	和田 孝一郎 <令和2年4月> 博士(医学)
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	原田 守 <令和2年4月> 博士(医学)
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	福田 誠司 <令和2年4月> 博士(医学)
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	吉山 裕規 <令和2年4月> 医学博士
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	平川 正人 <令和2年4月> 工学博士
		医生物学への数学・情報科学の 応用
兼任	教授	大谷 浩 <令和2年4月> 医学博士
		医生物学への数学・情報科学の 応用

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山本 達之 <令和2年4月> 農学博士
		医療のための光工学 及び研究指導
兼任	教授	中井 誠一 <令和2年4月> 文学修士
		英語アカデミックリーディング セミナー
兼任	教授	Carmella Lieske <令和2年4月> Masters of Applied Linguistics オーストラリア
		英語プラクティカルスキルア ップセミナー
兼任	教授	松下 幸之助 <令和2年4月> 博士(工学)
		知的財産と社会連携
兼任	教授	浦野 健 <令和2年4月> 博士(医学)
		理工医学のための生物材料学
兼任	教授	竹下 治男 <令和2年4月> 博士(医学)
		理工医学のための生物材料学
兼任	教授	内尾 祐司 <令和2年4月> 博士(医学)
		理工医学のための生物材料学
兼任	教授	谷戸 正樹 <令和2年4月> 博士(医学)
		医療のための光工学 理工医学のための生物材料学
兼任	教授	和田 孝一郎 <令和2年4月> 博士(医学)
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	原田 守 <令和2年4月> 博士(医学)
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	福田 誠司 <令和2年4月> 博士(医学)
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	吉山 裕規 <令和2年4月> 医学博士
		機能性物質・食品の医療応用と 環境影響
兼任	教授	平川 正人 <令和2年4月> 工学博士
		医生物学への数学・情報科学の 応用
兼任	教授	大谷 浩 <令和2年4月> 医学博士
		医生物学への数学・情報科学の 応用

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	兒玉 達夫 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	兒玉 達夫 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	兒玉 達夫 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	兒玉 達夫 <令和2年4月> 博士(医学)
		理工医学のための生物材料学			理工医学のための生物材料学			理工医学のための生物材料学			理工医学のための生物材料学
兼任	准教授	菅野 貴浩 <令和2年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	菅野 貴浩 <令和2年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	菅野 貴浩 <令和2年4月> 博士(歯学)	兼任	教授	菅野 貴浩 <令和2年4月> 博士(歯学)
		理工医学のための生物材料学			理工医学のための生物材料学			理工医学のための生物材料学			理工医学のための生物材料学
兼任	准教授	吉清 恵介 <令和2年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	吉清 恵介 <令和2年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	吉清 恵介 <令和2年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	吉清 恵介 <令和2年4月> 博士(農学)
		理工医学のための生物材料学			理工医学のための生物材料学			理工医学のための生物材料学			理工医学のための生物材料学
兼任	准教授	青井 典明 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	青井 典明 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	青井 典明 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	青井 典明 <令和2年4月> 博士(医学)
		機能性物質・食品の医療応用と環境影響			機能性物質・食品の医療応用と環境影響			機能性物質・食品の医療応用と環境影響			機能性物質・食品の医療応用と環境影響
兼任	准教授	中務 明 <令和2年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	中務 明 <令和2年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	中務 明 <令和2年4月> 博士(農学)	兼任	准教授	中務 明 <令和2年4月> 博士(農学)
		機能性物質・食品の医療応用と環境影響			機能性物質・食品の医療応用と環境影響			機能性物質・食品の医療応用と環境影響			機能性物質・食品の医療応用と環境影響
兼任	准教授	宮崎 亮 <令和2年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	宮崎 亮 <令和2年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	宮崎 亮 <令和2年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	宮崎 亮 <令和2年4月> 博士(理学)
		臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用			臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用			臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用			臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用
兼任	准教授	山崎 雅之 <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	山崎 雅之 <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	山崎 雅之 <令和2年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	山崎 雅之 <令和2年4月> 博士(工学)
		臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用			臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用			臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用			臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用
兼任	准教授	藤井 政俊 <令和2年4月> 理学博士	兼任	准教授	藤井 政俊 <令和2年4月> 理学博士	兼任	准教授	藤井 政俊 <令和2年4月> 理学博士			
		医療のための光工学			医療のための光工学			医療のための光工学			
									兼任	准教授	汪 暉東 <令和4年4月> 博士(工学)
											英語アカデミックリーディングセミナー
									兼任	准教授	岡本貴行 <令和4年4月> 博士(医学)
											機能性物質・食品の医療応用と環境影響
									兼任	准教授	田村太郎 <令和4年4月> 博士(医学)
											臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用
									兼任	准教授	柴垣広太郎 <令和4年4月> 博士(医学)
											医療のための光工学
兼任	講師	小谷 仁司 <令和2年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	小谷 仁司 <令和2年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	小谷 仁司 <令和2年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	小谷 仁司 <令和2年4月> 博士(薬学)
		機能性物質・食品の医療応用と環境影響			機能性物質・食品の医療応用と環境影響			機能性物質・食品の医療応用と環境影響			機能性物質・食品の医療応用と環境影響
兼任	講師	小野田 慶一 <令和2年4月> 博士(学術)									
		医生物学への数学・情報科学の応用									

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	石原 俊治 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	石原 俊治 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	石原 俊治 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	石原 俊治 <令和2年4月> 博士(医学)
		医療のための光工学			医療のための光工学			医療のための光工学			医療のための光工学
兼任	講師	玉置 幸久 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	玉置 幸久 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	玉置 幸久 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	玉置 幸久 <令和2年4月> 博士(医学)
		放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響Ⅱ			放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響Ⅱ			放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響Ⅱ			放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響Ⅱ
兼任	講師	宇田川 潤 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	宇田川 潤 <令和2年4月> 博士(医学)						
		医生物学への数学・情報科学の応用			医生物学への数学・情報科学の応用						
兼任	講師	永瀬 麻子 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	永瀬 麻子 <令和2年4月> 博士(医学)						
		医生物学への数学・情報科学の応用			医生物学への数学・情報科学の応用						
兼任	講師	籠橋 有紀子 <令和2年4月> 医学博士	兼任	講師	籠橋 有紀子 <令和2年4月> 医学博士						
		医生物学への数学・情報科学の応用			医生物学への数学・情報科学の応用						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

- ・ 田阪講師就任辞退。
- ・ 中田講師就任辞退。

【令和3年度】

- ・ 汪教授辞任
- ・ 濱口教授辞任

【令和4年度】

- ・ 高原准教授就任「教員審査省略」
- ・ 波場教授辞任
- ・ 鈴木准教授辞任
- ・ 前田講師辞任
- ・ 伯田講師辞任

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
7	5	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
42	44	10	0	96	0	48	35	6	0	89	0
(42)	(35)	(8)	(0)	(85)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
79	17	0				76	13	0			
(70)	(15)	(0)				(70)	(15)	(0)			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
48	35	6	0	89	0	48	35	6	0	89	0
[6]	[△9]	[△4]	[0]	[△7]	[0]	[6]	[△9]	[△4]	[0]	[△7]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
76	13	0				76	13	0			
[△3]	[△4]	[0]				[△3]	[△4]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{89}{96} = \boxed{92.7} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{89} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	講師	田坂 美樹	R元. 10	必修	論文研究	②	R元. 10. 31付け他大学の専任教員就任のため就任辞退（2）		
				必修	特別セミナー	②			
				選択	岩石鉱物物理	②			
				選択	社会人実践研究	②			
				選択	特別実践研究	②			
				選択	国際実践演習	②			
				選択	教育指導特別実習A	②			
2	講師	中田 行彦	R2. 3	必修	論文研究	②	R2. 3. 31付け他大学の専任教員就任のため就任辞退（2）		
				必修	特別セミナー	②			
				選択	遅延方程式特論	②			
				選択	社会人実践研究	②			
				選択	特別実践研究	②			
				選択	国際実践演習	②			
				選択	教育指導特別実習A	②			
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	4	科目	必修	科目	必修	4	科目
		選択	12	科目	選択	科目	選択	12	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	0	科目	計	16

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	汪 発武	R2. 5	必修	論文研究	①	R2. 5. 1付け他大学の専任教員就任のため辞任（3）
				必修	特別セミナー	①	
				選択	地すべりダイナミクス学	②	
				選択	社会人実践研究	①	
				選択	特別実践研究	①	
				選択	国際実践演習	①	
				選択	教育指導特別実習A	①	
2	教授	濱口 清治	R3. 3	必修	論文研究	①	R3. 3. 31付け他大学の専任教員就任のため辞任（3）
				必修	特別セミナー	①	
				選択	計算機設計技法特論	②	
				選択	社会人実践研究	①	
				選択	特別実践研究	①	
				選択	国際実践演習	①	
				選択	教育指導特別実習A	①	
3	准教授	鈴木 貢	R3. 8	必修	論文研究	①	R3. 8. 31付け辞任（4）
				必修	特別セミナー	①	
				選択	言語処理系最適化特論	②	
				選択	社会人実践研究	①	
				選択	特別実践研究	①	
				選択	国際実践演習	①	
				選択	教育指導特別実習A	①	
4	講師	前田 瞬	R3. 9	必修	論文研究	①	R3. 9. 30付け他大学の専任教員就任のため辞任（4）
				必修	特別セミナー	①	
				選択	調和写像論	②	
				選択	社会人実践研究	①	
				選択	特別実践研究	①	
				選択	国際実践演習	①	
				選択	教育指導特別実習A	①	
5	教授	波場 直之	R4. 3	必修	論文研究	①	R4. 3. 31付け他大学の専任教員就任のため辞任（4）
				必修	特別セミナー	①	
				選択	素粒子物理学特論	②	
				選択	社会人実践研究	①	
				選択	特別実践研究	①	
				選択	国際実践演習	①	
				選択	教育指導特別実習A	①	
選択	教育指導特別実習B	①					

6	講師	伯田 惠輔	R4.3	必修	論文研究	①	R4.3.31付他大学の専任教員就任のため辞任(4)			
				必修	特別セミナー	①				
				選択	社会人実践研究	①				
				選択	特別実践研究	①				
				選択	国際実践演習	①				
				選択	教育指導特別実習A	①				
				選択	教育指導特別実習B	①				
合計(F)			後任補充状況の集計(G)							
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
6	人	必修	12	科目	必修	12	科目	必修	0	科目
		選択	35	科目	選択	30	科目	選択	5	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	47	科目	計	42	科目	計	5	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-③ 上記(3)-①・(3)-②の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
8	人	必修	16	科目	必修	12	科目	必修	4	科目
		選択	47	科目	選択	30	科目	選択	17	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	63	科目	計	42	科目	計	21	科目

(3)-④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{8}{96} = 8.33\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)-⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

4人

(注) ・ (3)-①、(3)-②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 辞任した専任教員が担当する予定であった授業科目のうち、他の教員と共同で開講する授業については、他の専任教員により内容を変更することなく実施する体制を整えたため、該当授業の開講に支障はない。また、単独で担当する予定であった授業科目も、全て当該教員を兼任教員として授業を開講し、内容を変更することなく実施するため、教育課程の編成に変更はない。</p> <p>「学生への周知方法」 担当教員の変更については、メールや掲示及び各指導教員からの連絡により学生へ周知している。また、シラバスにより、授業の目的、達成目標、授業の内容や進め方、成績評価の方法およびその基準など詳細な情報を提供しており、専任教員の一部が交代しても学生の履修に支障がないように情報を提供している。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<創成理工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 大学院自然科学研究科学務委員会（規程は別紙のとおり）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年間約5回開催。委員10名のうち、毎回10名が参加（代理出席含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等 別紙規程のとおり</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンスについての研修会 ・ コロナ下での学生対応 ・ 研究倫理教育 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学のFD研修等を行う「大学教育センター」等の関係部局と連携して実施 ・ e-ラーニングによる実施 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生の自殺を防ぐ教職員にできること（開催：令和3年10月27日 人数：87） ・ 大学生の自殺を防ぐ教職員にできること（開催：令和3年11月24日 人数：88） ・ コンプライアンス研修（ハラスメント防止研修含む）（開催：令和3年12月22日 人数：177） ・ 日本学術振興会 研究倫理教育e-ラーニング（開催：通年 人数：205） <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講した研修内容を学生対応、研究倫理教育等に活用 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 無</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p>
--

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置計画に沿って実施を進めている。引き続き、設置の趣旨・目的の達成に向けて取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・未定

b 公表方法

記入例)

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。